

長 生



平成27年 6 月 号

目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長	柴田政宏	
宗教編			
法話	得勝寺	本莊一治	1
医学編			
スポーツマッサージの生体に及ぼす影響	元 つくば国際大学医療保健学部 教授	星 虎男	3
	長生学園 講師		
長生医学編			
側弯症とその後	東京都	山森 誠	9
上肢骨折後のリハビリ治療の一考察	岐阜県	加藤 義明	10
随想編			
日本三景・天橋立の魅力①	京都府	岡崎 誠次	12
2年生になって	59期 昼間部	古屋 真由美	13
ドッジボール大会は学生交流の場	58期生	長南 貴広	14
五・七・五の世界(短詩型文藝の世界) 十七音字への誘い			16
長生歌壇			17
長生知恵袋			18
長生会便り			
本部報告			20
支部案内			23
本部案内			25
訃 報			25
お詫びと訂正			25
学園便り			25

日本長生医学会

会長の言葉

総本山長生寺管長 柴田政宏
日本長生医学会会長

長生学園全校生徒による長生上人のご命日法要が、総本山長生寺において執り行われました。

「当流の安心の趣を詳しく知らんと思わん人は、あながちに智慧才学もいらず、ただ我が身は罪深き浅ましき者なりと思いとって、かかる機までも助けたまえる仏は阿弥陀仏ばかりなり……。

私共はこの仏の本願に従って、ただ南無阿弥陀仏と称えれば、如来様が八万四千の光明を放って、護りづめに護るぞよの呼び声が阿弥陀仏ということじゃ……。

本堂に響き渡る長生上人のお説教を映像にて拝聴させて頂きました。

長生上人の教えは、私たちに人間として必要なことを身に着けて、自らの心を正しつつ、二度とない人生を大切に、人に喜んで貰える生き方をするように心がけ、心豊かな人生を送れるように精進することを繰り返し繰り返し説かれたのです。

仏教の教える百八の煩惱の代表格は

貪欲—むさぼり 瞋恚—いかる心 愚痴—正しい道理を知らず迷う愚かな心。この三つの心のために、どうしても自己中心の考え方をすることになり、正しい判断が出来なくなるのです。私たちは長生上人のお導きで霊肉救済を行い、更には徳を得させて貰う、なんと有難いことではないでしょうか。

さて近年は長生学園の入学希望者も様変わりをしており、インターネットを利用する人々が大変多くなっております。又、高齢化が進む社会においては、医療ミスを伴う事もあり、長生上人から受け継いだ手技の全てを伝えかねる現状もありますが、修伽先生は、長生上人の教えを一人でも多くの学生に正しく指導すべく、週3日間、昼間部・夜間部の授業に専念なさっております。

各支部で毎月開催されます勉強会においても、新入会員の方々の技術の向上と、霊肉救済の本旨を、しっかりと教え導いて下さる事を願っております。

合掌